

03

課題の最前線

税務の最前線で

高山税務署長

青木 愛

- H21.4 国税庁 課税部 課税総括課
- H22.7 国税庁 長官官房 企画課
- H23.7 大宮税務署 法人課税部門 国税調査官
- H24.7 財務省 IMF 世銀総会準備事務局
- H24.11 関東信越国税局 課税第二部 法人課税課 国税実査官
- H25.7 米・ワシントン大学
- H26.7 国税庁 長官官房 人事課 企画係長
- H27.8 金融庁 総務企画局 企業開示課 課長補佐
- H29.7 現職

課題の最前線 EPISODE 03

国の代理人として、法廷に立つ

法務省
訟務局 租税訴訟課

久田 訓寛

- H25.4 国税庁 長官官房 国際業務課
- H26.7 国税庁 課税部 審理室
- H27.7 岡崎税務署 個人課税部門 国税調査官
- H28.7 現職

課題の最前線 EPISODE 04

初心を忘れずにいられる職場

10年前、当時学生だった私は、「正直者が馬鹿を見ない社会を実現したい」という青臭い想いを胸に国税庁を就職先に選んだ。これまで、国税庁本庁での勤務、海外留学、他省庁への出向など様々な経験をさせてもらったが、この想いは変わらず、むしろ強くなったとさえ思う。

税務の最前線での戦い

現在、岐阜県の飛騨地方で税務署長をしている。東京都の2倍の面積を誇る広い管内、冬には豪雪地帯となる地域で47人の職員と共に、国税庁の使命である適正・公平な課税・徴収の実現に向けて、日々奮闘している。税務署長の仕事は多岐に渡るが、一番緊張するのは、課税処分・滞納処分の最終決定を行う

場面だ。現場で納税者と直接接し、時に厳しい戦いを強いられる職員から詳細に話を聞き、自分の決断が公平・中立で正しいものなのか頭を悩ませる。現場経験が多くはない自分の判断が間違った方向に行かないよう、担当職員と共に議論しながら、最終決断を下す。担当者が納税者を説得し、最終的に無事、適正な申告・納税が行われ、職員の苦勞が報われたとき、署長としてのやりがいを感じる。

現場の声を中央にフィードバックすること

税務署勤務で感じるのは、職員の使命感・正義感が国税組織を支えているということだ。彼らの想いを裏切ることなく、最大限に力を発揮してもらえよう、国全体の税務行政のあるべき道筋をこれからも考えていきたい。



法廷で繰り広げられる法律論争

依頼者の代理人として法廷に立つのは弁護士ではありません。国側の代理人として、法務省と国税当局の職員が法廷に立ち、時に高度な法律論争を繰り広げています。

課税の最後の砦

私は、国税に関する訴訟について、国の代理人として、裁判所に提出する準備書面の作成や裁判所への出廷を行っています。国税庁・法務省には、長年の訴訟対応により積み重ねられた訴訟のノウハウがありますが、それでも経済の複雑化・多様化、さらには新たな租税回避スキームの開発により、先例のない困難な事件が発生します。税に強い大手法律事務所の弁護士の綿密に練られた主張に対し、税の専門家である我々国税職員と、法務省に出向する裁判官・検察官（訟務検事）がタッグを組み、適正な課税を実現するべく日々応戦しています。税務訴訟は専門性が高く、課税実務への影響を考慮しながら主張を整理することは容易なことではありません。しか

し、訴訟は課税処分の正当性が問われる最終局面です。課税の最後の砦として知を集結し、課税処分に当たった調査担当者の思いを胸に、説得力のある主張を検討しています。

